

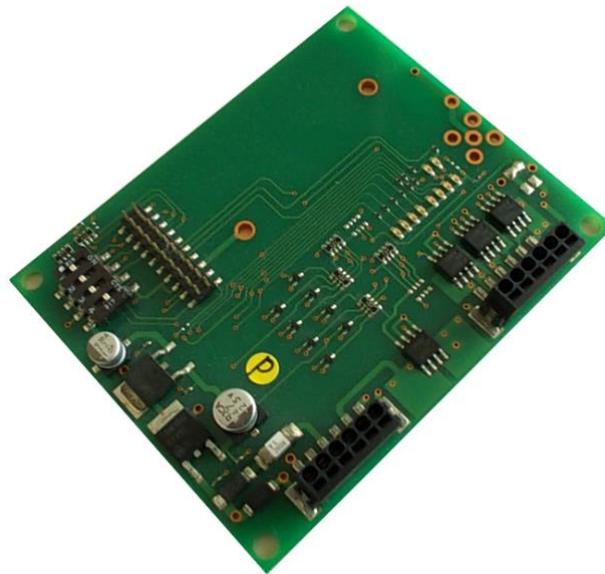


02-8swRXBD

TS02EJ 用アプリケーションボード

02-8swRXBD

ワンタッチ端子台タイプ



野村エンジニアリング

Nomura Engineering Co., Ltd.

Since 1997

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

野村エンジニアリング株式会社 <https://www.nomura-e.co.jp/> e-mail:info@nomura-e.co.jp
〒242-0023 神奈川県大和市渋谷1丁目7-2 TEL:046-244-0041 FAX:046-244-3551



02-8swRXBD

目次

1. 概要	3
2. 品番と構成	3
3. 電氣的仕様	3
4. 各部の説明	4
5. 端子台の接続について	5
6. 設定スイッチについて	5
7. チャネルグループ（送受信共通）	6
8. 初期設定項目	6
9. ID 登録（受信モジュール/スレーブ）	7
10. 外形図	8
11. 回路図	9
12. 注意事項	10
13. 変更履歴	11

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

02-8swRXBD

1. 概要

送信機を ON すると対応する出力端子 IO1 から IO8 がアクティブとなり LED が点灯します。出力は最大 1 A までの負荷を取り扱うことができますが、IO1 から IO8 が複数 ON する時は合計で 2A を超えないようにしてください。

電源 B+には 5V~30V を供給可能です。電源には逆接防止ダイオードおよびイグニッションノイズ吸収素子が入っています。

2. 品番と構成

品番： 02-8sw RXBD-#

構成： #：出力選択 . . . P (+B 電源出力 オン時+B出力)
 . . . N (オープンドレイン出力 オン時グランド)



←写真は、TS02EJ-F 8w(A)RX (別売)と
02-8swRXBD-P で構成されています。

3. 電氣的仕様

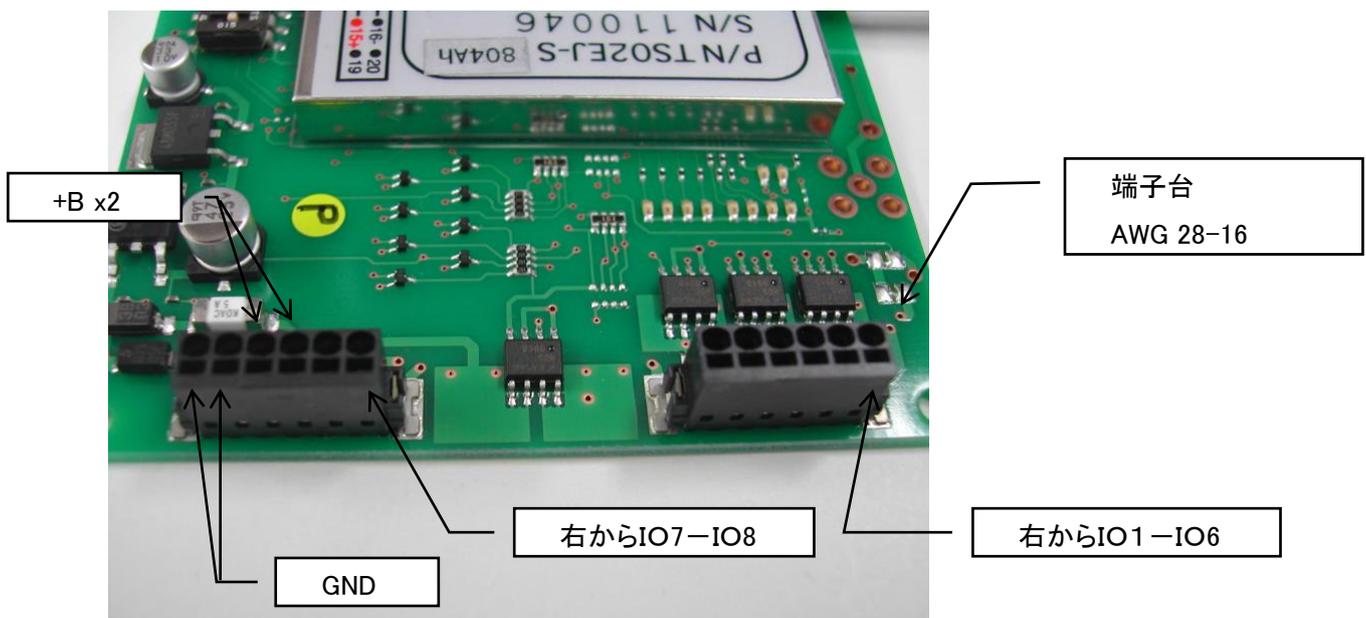
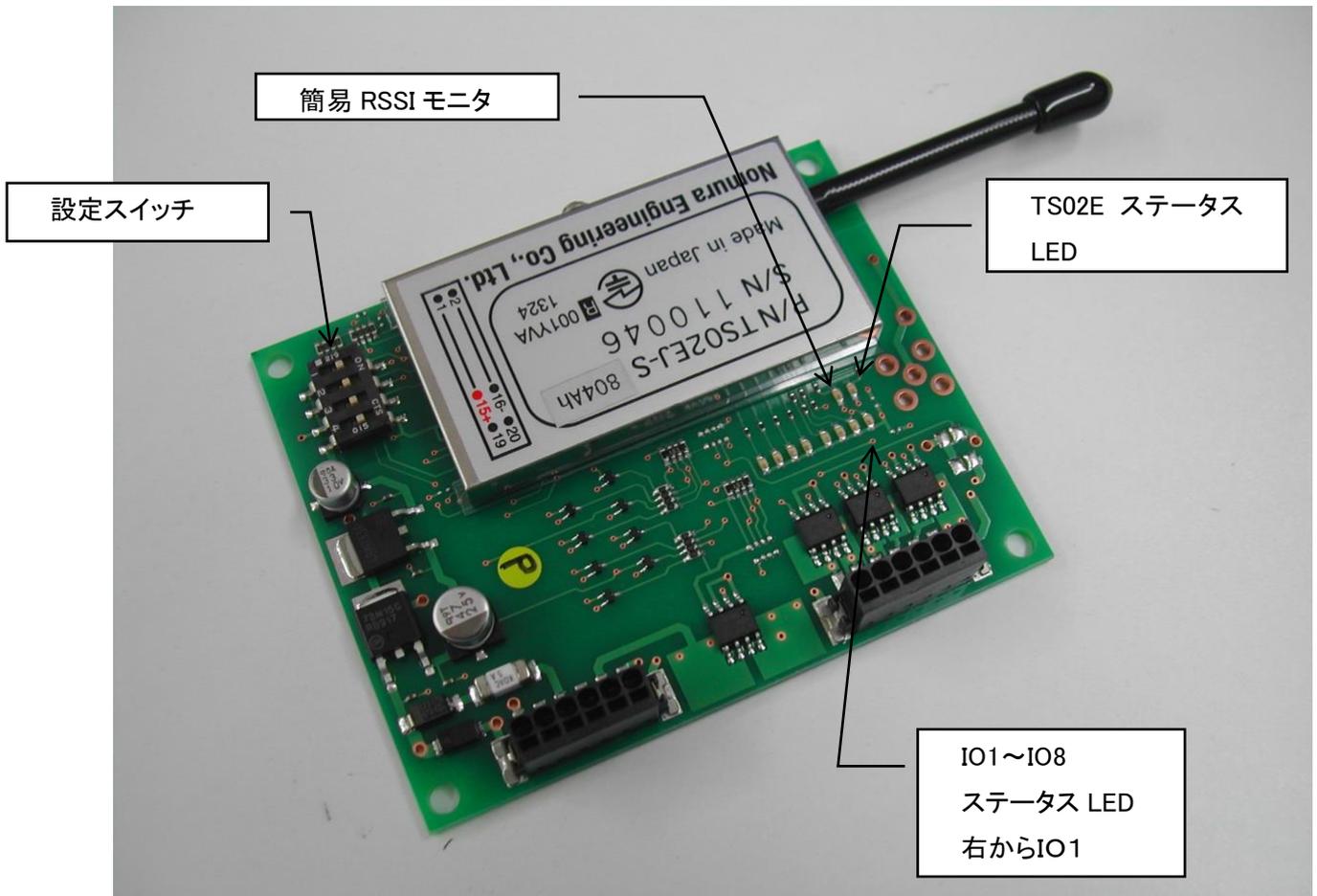
無線モジュール	当社 TS02EJ 8sw(A)RX または 8swLDMRX
送受信周波数	429.2500 MHz ~ 429.7375 MHz
電源電圧	+B : 5~30V DC
消費電流 (受信時)	約 50 mA 以下
寸法	63 x 78 mm (突起部は除く)
出力ポート	N : オープンドレイン出力 (1A max) P : 電源出力 (1A max)

*同時出力は合計 2A を超えないようにしてください。

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

02-8swRXBD

4. 各部の説明

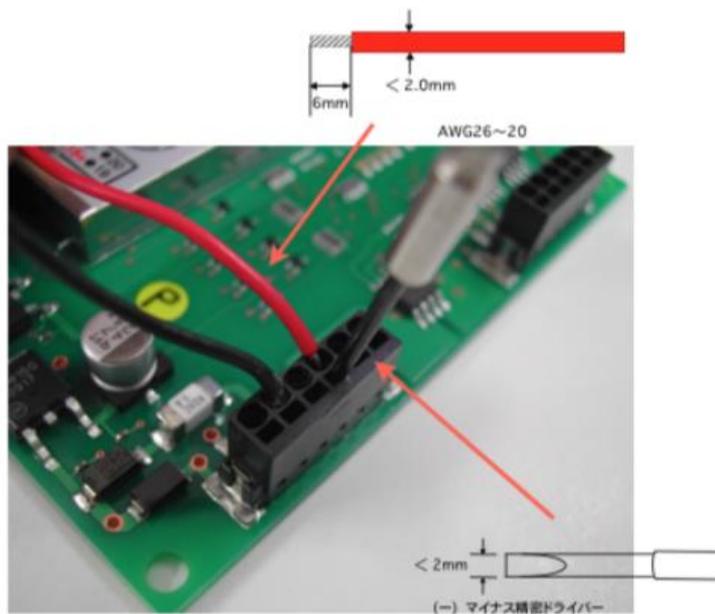


製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

02-8swRXBD

5. 端子台の接続について

端子台へのケーブル接続は、細い(−)調整ドライバーを横の四角い穴に差し込んで、ロック／解除を行います。(AWG26-20 に対応)



6. 設定スイッチについて

4 : PWR SW

TS02E 無線モジュールの電源スイッチです。
(モジュール以外の回路は外部でON/OFFする)

1 ~ # 3 : 設定ビット

チャンネルグループ、ID 登録など設定します。

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

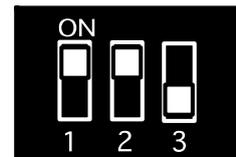
02-8swRXBD

7. チャンネルグループ（送受信共通）

利用可能な 40 チャンネルは混変調特性などを考慮して4つのグループ、10 チャンネルずつに分割されています。同一エリア内で複数セットを使用される場合はできるだけ異なったチャンネルグループで使用して下さい。

チャンネルグループは電源投入時のみチェックしますので、変更した時は電源を再投入して下さい。

チャンネルグループ	SET1	SET2	SET3
1	OFF	OFF	OFF
2	ON	OFF	OFF
3	OFF	ON	OFF
4	ON	ON	OFF



ディップスイッチ

右の図のディップスイッチはチャンネルグループ 4 を示しています。

★送受信/マスターモジュール、受信/スレーブモジュール共に同一のチャンネルグループで使用してください。

8. 初期設定項目

電源投入時に SET1, SET2 および SET3 の状態で以下の初期設定項目に入ります。続いてそれぞれの設定項目で示すディップスイッチの設定に従います。最後に SET3 を” OFF” に戻すと設定が完了して、EEPROM に記憶されます。

設定項目	SET1	SET2	SET3	備考
ID 登録	ON	ON	ON	受信/スレーブモジュール
通常動作	※	※	OFF	送受信モジュール

※通常動作時、SET1 及び SET2 はチャンネルグループ設定となります。

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

02-8swRXBD

9. ID 登録（受信モジュール/スレーブ）

送信モジュールにはユニークな ID が記憶されており送信毎に ID が送出されます。この ID を受信/スレーブモジュール側に登録する事でペアリングを組んで使用します。最大 100 までの ID を受信側で登録することができるので 1 対多での利用も可能です。更に多数の受信/スレーブモジュールを制御する必要がある時はお問い合わせください。

ID 登録方法；

- 1) 一度通常動作状態とし、送信/マスターモジュールと受信/スレーブモジュールでチャンネルグループが一致するよう設定を行って下さい。設定後、電源を OFF にして下さい。
- 2) SET1~3 のディップスイッチを全て ON として電源を投入して下さい。
- 3) ステータス LED が 1 回長点滅後、3 回短点滅し、その後、長点滅となります。
- 4) 送信/マスターモジュールの任意の端子を ON として信号を送信して下さい。
- 5) 信号が受信されると、ステータス LED が 3 回短点滅し、ID が一時記憶されます。
- 6) LED の点滅を確認後、送信を停止して下さい。
※送信を続けると、LED が高速点滅となります。
必要な場合は、他の送信/マスターモジュールで上記 4~6 同様に ID を記憶させて下さい。
- 7) SET3 を OFF にすることで、一時記憶された ID をメモリに登録します。
※登録された ID は、電源 OFF 後も保持されます。
- 8) 一度、電源を OFF にすることにより設定が完了します。

ID クリア；

- 1) SET1~3 のディップスイッチを全て ON として電源を投入して下さい。
- 2) ステータス LED が 1 回長点滅後、3 回短点滅し、その後、長点滅となります。
- 3) そのまま何も登録せずに SET3 を OFF にしてください。ID が全て消去されます。

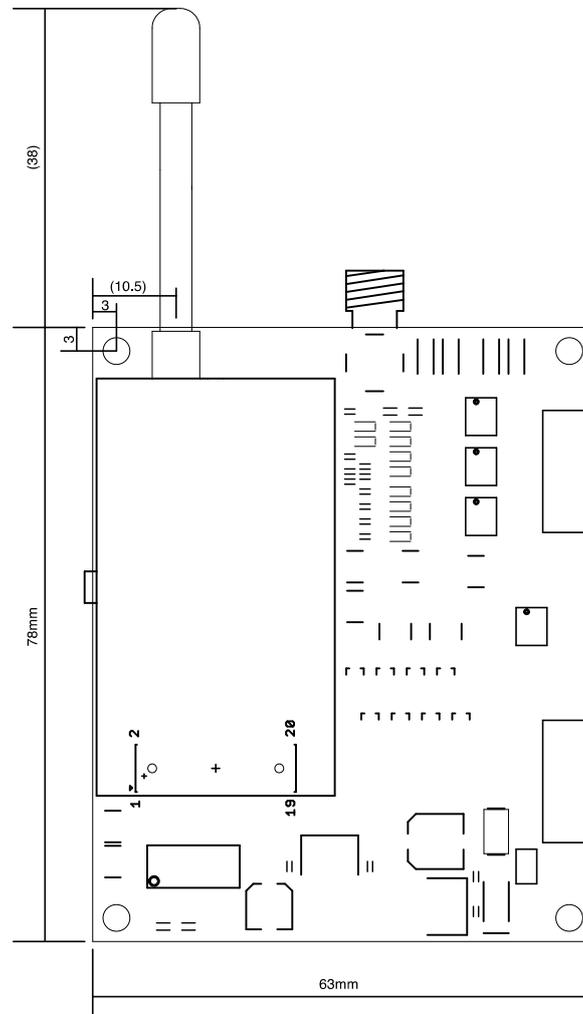
ID 登録時の注意事項；

- ・受信/スレーブモジュールに ID が登録されていない場合、通信できません。
- ・ID 登録動作を開始し、何も登録せずに SET3 を OFF にして登録動作を終了すると、登録されている ID は全て消去されます。
- ・ID 登録動作を開始し、SET3 が ON のまま電源を OFF にした場合、登録内容は変更されません。（一時記憶された ID は登録されません）
- ・既に ID が登録されている状態で、登録動作を行った場合、ID が追加登録されます。
- ・登録済みの ID の信号を受信した場合、及び、30 個の ID を登録済みの状態で新たな ID の信号を受信した場合、LED が高速点滅となります。この場合、新たな ID は登録されません。

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

02-8swRXBD

10. 外形図



*TS02EJ モジュールを取り付けたときの寸法図

*高さ方向：

表面：端子台 9mm

基板：2mm 以下

背面：突起物なし

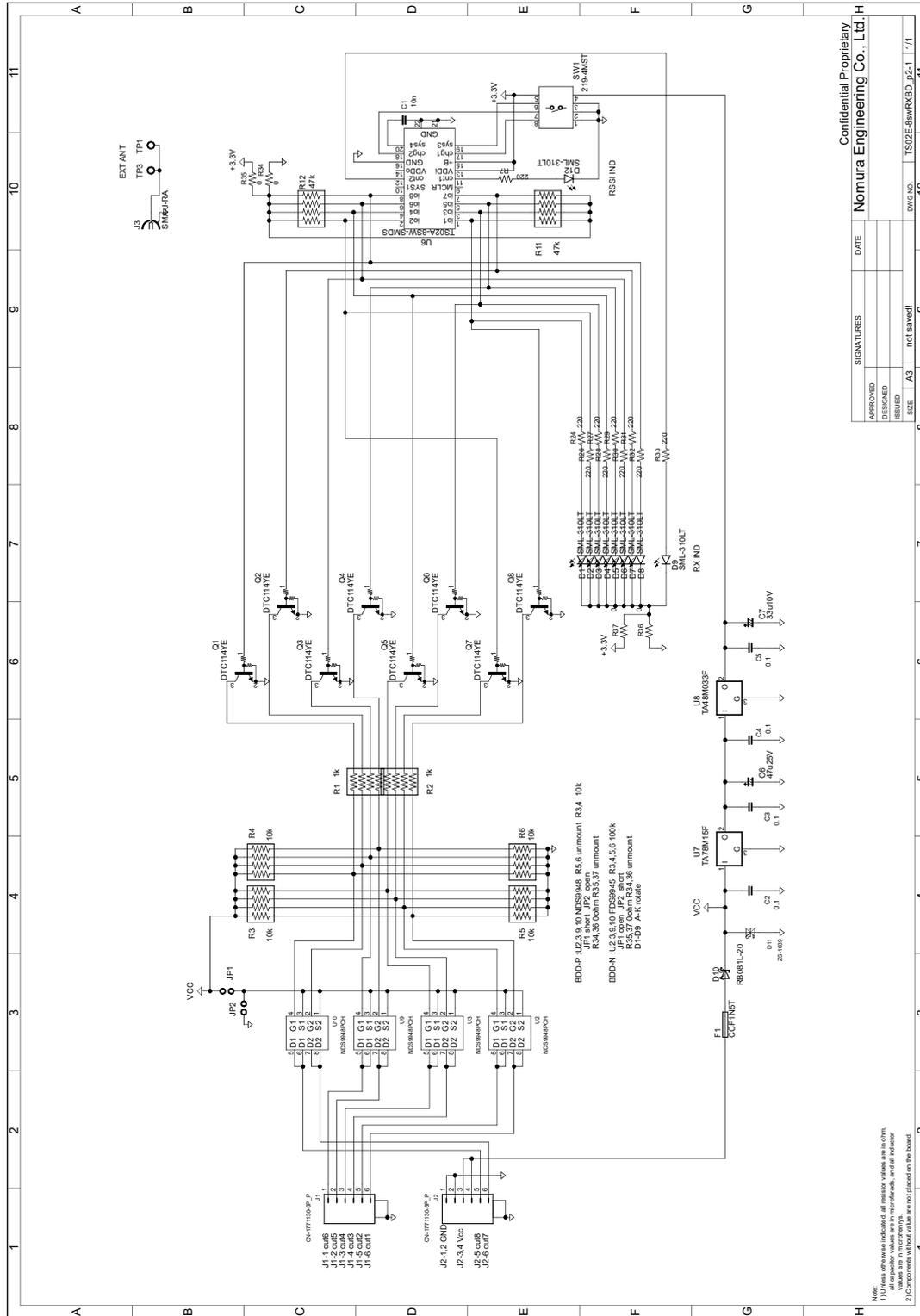
製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

野村エンジニアリング株式会社 <https://www.nomura-e.co.jp/> e-mail:info@nomura-e.co.jp
〒242-0023 神奈川県大和市渋谷1丁目7-2 TEL:046-244-0041 FAX:046-244-3551



02-8swRXBD

11. 回路図



製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。

02-8swRXBD

12. 注意事項

❖ 電波法に関する注意事項

アンテナは取り外したり、ケースを開けて改造することは法律で禁止されていますので、絶対に行わないでください。

技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。ラベルの無いものは使用が禁止されています。日本国外での電波法には準じておりませんので日本国内でご使用ください。

❖ 取り扱いに関する注意事項

高速ロジック回路やブラシモータから放射される高周波ノイズで受信の感度抑制が発生して通信距離が極端に短くなることがあります。その場合はノイズ源から受信部を遠ざけるなどの工夫をしてください。

電波伝搬においてマルチパスで電波の強弱が発生しデッドポイント（ヌルポイント）が発生し、送信機を傾けただけで受信できなくなることがあります。

製品の故障や誤作動が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないでください。

電源の逆接は機器の故障になりますので、絶対行わないでください。

強い衝撃を与えたり、水やその他の溶液に浸したりすると故障の原因となるので、絶対行わないでください。

分解して改造したりしないでください。

アンテナを強く引っ張らないでください。

基板両面に小型チップ部品を多用しています。落としたりぶついたりすると部品が剥がれたり、基板のパターンがはがれたりして製品故障の原因となりますのでご注意ください。

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。



13. 変更履歴

2020/9/4 レイアウト変更

製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方は絶対にしないで下さい。